

# Together

Shukutoku University Magazine  
No.244 | 2024.10.1

学長メッセージ

## 被災された方々へ 思いを馳せて

ウィズ・ユー 在学生紹介

1. 目標の実現に向けて  
主体的に学びに向き合う
2. 二刀流の剣士として、  
果敢に道を切り拓く

淑徳人 No.240 Interview

大学での学びと出会いが  
人生を変えた

ともいきのこころ

学祖・長谷川良信先生の足跡

SHUKUTOKU TOPICS

CAMPUS NEWS



## 能登半島地震復興支援プログラム 2024

淑徳大学は2つの能登半島地震における  
復興支援活動を継続的に行っています。

### 珠洲市復興支援プロジェクト

- ・4月28日～5月4日の期間で2クール実施し、珠洲市ボランティアセンターのコーディネートのもと、被災家庭での家財の片づけや災害ゴミの運搬などを行いました。(学生9名、教職員8名参加)
- ・9月3日～9月6日にて仮設住宅内でサロン活動を実施しました。(学生6名、教職員3名参加)



これらの活動の一部は、ニュースでも取り上げられました。ぜひご覧ください。



北陸朝日放送は  
こちらから▶



ANN NEWSは  
こちらから▶

### パネルシアターでの 能登半島地震における支援活動 (パネルシアターキャラバン)

淑徳発祥の「パネルシアター」を用いて学生と教職員が一体となって上演し、子どもたちや高齢者の方々に笑顔を届けることを目的に東日本大震災発災以降継続的に行っている活動です。この度の活動では、パネルシアターやタオル遊びなど、遊び場の提供を通じた「心のケア」を行いました。

- ・4月30日～5月2日にて、石川県金沢市・かほく市・河北郡内灘町・七尾市の施設で実施(学生6名、教職員5名参加)
- ・8月26～28日にて、石川県珠洲市・輪島市・七尾市・金沢市の施設で実施(学生10名、教職員2名参加)

※2つの活動は、社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団、Yahoo!基金、中央共同募金会他、さまざまな外部団体さまより資金の助成をいただき実施しました。感謝と御礼申し上げます。



利他共生を建学の精神とする本学では、学生、教職員一人ひとりが被災地に思いを馳せ、被災された皆様に寄り添い続けてまいります。今後も「利他共生」の思いと本学の専門的資源を併せながら、息の長い継続的な支援活動を進めていきます。関心のある方は、ホームページをご覧ください。



地域共生  
センターは  
こちらから▶



## 学長メッセージ

# 被災された方々へ 思いを馳せて

学長 山口 光治

みなさんは今年の1月1日を、どこでどのように過ごしていましたか。

1月1日16時10分頃、石川県能登半島を中心に最大震度7を観測する地震が発生しました。私は、自宅のある長野市内で車を運転しており、大きく揺れたことを覚えていますが、すぐにラジオから流れる速報に耳を傾け、どこで起き、被害はどの程度なのかなど、気にしながら自宅に戻り、テレビが映し出す映像を観ていました。発災当時、みなさんもさまざまな場所で、元日を過ごしていたことと思います。

能登半島では、2020(令和2)年12月以降、地震が頻発しており、気象庁は連日の地震活動について、陸域でマグニチュード7.0以上かつ最大震度5以上の基準を満たしたことから、今回の地震の名称を「令和6年能登半島地震」と定めています。発災から10か月ほどたちますが、改めて被災された方々に對して心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早く元の生活を営むことができますことを祈念しております。

地震大国日本では、これまでも多くの地震を経験してきました。と同時に、被害を受けた方々を、人々が支えていくという取り

組みも進んできました。発災後、人命を救助するために消防や警察、そして災害派遣の自衛隊、災害派遣医療チーム(DMAT)などの専門職チームの活動はもろろのこと、1995(平成7)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では多くのボランティアが被災地に駆け付け、災害の救援・復旧に欠かせない存在であることを印象づけ、「ボランティア元年」と呼ばれたことは、承知の通りです。

淑徳大学の建学の精神である「利他共生」(他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる)は、こと地震などの災害時において、とても重要になってきます。今、こうして当たり前の日常を送ることができている私たちも、いつ、地震や災害に遭うかわからない、そういう意味では「お互い様」なんです。その精神で、「少しでも被災された方の力になりたい」という姿勢が生まれ、利他活動が始まるのだと思います。

淑徳大学では、東日本大震災を契機に、2011年に全学組織として「淑徳大学東日本大震災支援ボランティアセンター」が立ち上げられ、卒業生が避難所の運営委員を担っていた宮城県石巻市雄勝町の大須小学校へ、避難所での食事の準備や掃除、海岸の清掃などの支援活動を、学生はもとより、教職員も加わって実施しました。そして能登半島地震では、地域共生センターの活動として、卒業生との縁があった石川県珠洲市にて「珠洲市復興支援プロジェクト」と石川県下で「パネルシアターでの能登半島地震における支援活動」が実施されました。災害支援活動では、発災から時間が経過するとともに、現地の住民が抱えている生活ニーズは変化してきます。そのニーズをきめ細かく把握して、それに応えていくことが支援の基本となります。



在学生  
Student introduction  
紹介

# 目標の実現に向けて 主体的に学びに向き合う

看護栄養学部看護学科では、主体的に学ぶ姿勢を持った学生の努力と、学科を挙げた学生サポートが奏功し、看護師国家試験や保健師国家試験の合格率が向上しています。今回は、4年間を通じた淑徳大学での学びについて、勉強会サークルの代表学生とキャリア支援委員会委員長の教員とが対談しました。

将来の目標に向かって  
先輩、後輩と学び合える  
勉強会サークル

**井上先生** 加藤さんは、看護学科独自の勉強会サークルの代表を務めていると聞きまして。どのような活動をしているのですか。

**加藤** 「iOS」というサークルで、学年を超えて50人程度のメンバーが集まり、大学の定期テストや国家試験などの対策を一緒に行っています。定期テスト前は教室を確保し、週2回程度、放課後に集まって勉強しています。

**井上先生** サークルに入ったきっかけを教えてください。

**加藤** 先輩から「iOS」の話聞いて、自分の勉強に役立ちそうだなと思ったからです。先輩や後輩とつながる機会が得られることも魅力でした。

## 対談 在学生 先生

ウィズ・ユー

**井上 菜穂美** 准教授  
看護栄養学部 看護学科  
キャリア支援委員会 委員長



**井上先生** 具体的にどのようなことが役立っていますか。

**加藤** 先輩からは、オスメの勉強法や、実習の雰囲気も教えてもらえます。先輩が試した勉強法で、どのような効果が得られたかまで聞けるので、かなり役立ちます。逆に、先輩に教えることもあり、教えることで自分にも内容が定着していく実感があります。

**井上先生** このサークルは、コロナ禍の影響で一度、集まれなくなりましたが、それがまた復活してくれて、私たち教員もうれしいです。メンバーの学生は勉強に対するモチベーションが高く、日々の授業のミニレポートでもしっかり勉強して提出するなど、成果につながっていますよね。

学内のあちこちにある  
学びのしかけや教員サポートで、  
国家試験対策も万全

**加藤** 仲間と問題を出し合ったり、お菓子を食べたりしながらリラックスした雰囲気の中で勉強できています。一人で勉強するよりもかどるように感じます。

**井上先生** 加藤さんはサークル活動で日々、コツコツと勉強していますが、これから国家試験の対策にも取り組んでいく予定ですか。

**加藤** そうですね。過去問を少しずつ見て、解くということをやっています。授業で配られるプリントの中にも国家試験の過去問が含まれているので、それを解いて雰囲気をつかんだり、少しずつ慣れていったりするように心がけています。

**井上先生** 今は2年生なので、解剖生理学、病態学、薬理学など看護の基礎となる部分を固めておく良いですね。

**加藤** はい。授業をしっかり聞き、1、2年次

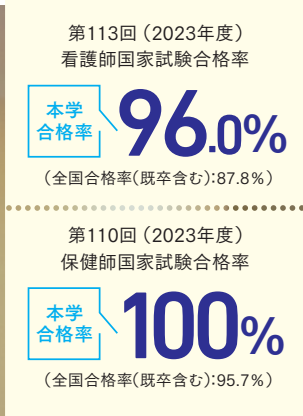


の復習にも取り組みたいと思います。

**井上先生** そうですね、繰り返しすることで知識が定着します。看護学科では、学修支援委員会が教員が中心となって、基礎固めの講座や低学年模試を実施するなど、主に1〜3年次までの学修支援を行っています。また、復習の機会を意図的に設置。キャンパス内の廊下に人体模型を置いたり、トイレに解剖生理学の問題を掲示したりと、大学生活の中で自然と学べるような仕組みがあちこちにあります。

**加藤** 確かに、トイレに問題が貼ってありますね！トイレは毎日行くので、何回も見ているうちに覚えてしまっています。

**井上先生** 国家試験対策としては、4年次から私たちキャリア支援委員会がサポート



ウィズ・ユー

**加藤 碧さん**  
看護栄養学部 看護学科 2年



します。過去に出題された問題を活用した学内模試や、看護師国家試験対策の予備校が行う全国規模の模試などを行っています。模試は、受けるだけでなく、弱点を見つけてそこを強化していくことが大切。そのフォ

ローとして、模試を復習する時間の設定、集まって勉強できる場所の確保など、学修しやすい環境づくりに努めています。そのほかに、学内外の講師による講座、特定分野に関する重点講座など、学生たちを全力でバックアップします。また、学生による国試対策委員会が主体となって、模試でつまづきやすい箇所や覚えるべき事柄などをまとめて、キャンパス入り口すぐの場所に定期的に掲示するなど、難所をみんなで克服しようという気風があります。

**加藤** みんなと一緒に国家試験に立ち向かうという風土が、大きな力になっているんですね。以前、外部講師の方の講座に参加したことがあります。腎臓についての集中的な講義だったのですが、自分で絵を書いたり、「ここは絶対覚えて」と講師の先生から言われたりと、普段の授業とはまた違った展開で、よく頭に入りました。国家試験に向けた勉強は、1日どの程度すればよいのでしょうか。

**井上先生** 正解はありませんが、基礎的な知識や学力のある学生なら、1、2時間でも十分です。一方で、毎日5、6時間勉強してもなかなか成績が上昇しないという現実もあります。学習の進め方に悩む学生には、教員同士で連携して、適切なアドバイスを送ります。教員としては、1、2年次のうちに毎日2時間程度は自宅学習をする習慣をつけてほしいですね。

**加藤** やはり、今から取り組んでおくことが将来、役に立つんですね。今後、普段の授業やサークル活動を通じて、周りの仲間と力を合わせて勉強を続けていきたいです。



在学生  
Student introduction  
紹介

# 二刀流の剣士として、 果敢に道を切り拓く



両手に竹刀を持ち、  
二刀流で優勝をつかむ

剣道は、両親や兄の影響を受けて3歳の頃から始めました。これまでの剣道生活の中で、昨年の千葉県学生剣道大会・男子個人戦での優勝はいちばんうれしい出来事です。脳性麻痺のため左半身を自由に動かさない身体ですが、野球やサッカーのように走ったり跳んだりすることが必要なスポーツに比べ、剣道は誰でも同じ土俵で勝負できます。私も右手に大刀、左手に小刀を持つ「正二刀」という構えで戦っています。この二刀流は、剣豪の宮本武蔵が原型を作ったといわれ、現代の剣道でも正式に認められています。公式試合においては大学剣道から認可されているスタイルです。

学校生活や剣道を通じて、  
挑戦することの大切さを教わる

小・中・高校時代は日々の生活や剣道を通じて、多くの先生や周囲の人に支えられて、障がいがあっても挑戦する大切さを教わりました。そのおかげで、どんな困難に直面しても、自分で道を拓こうと立ち向かう姿勢が培われたと思います。将来を考



え始めたとき、私に勇気をくれた先生のようになりたいという思いが募り、教員の道をめざして剣道も続けられる淑徳大学への進学を決意。大学では、先生や職員の方が、一人ひとりの学生に必要なことを親身に考え、手厚くサポートしてくださることに驚きました。

自身の体験を伝えるため、  
特別支援学校の教員になりたい

現在は、特別支援学校教諭一種免許状の取得をめざして勉強中です。私の体験を障がいのある子どもたちに伝え、自分で道を切り拓けることを知ってほしいという思いがあります。3年次には、大学で勤めてもらった「ちば！教職たまごプロジェクト」という研修制度に参加し、千葉県内の小・中学校で授業補助のボランティアを行いました。特別支援学級に入ることが多く、子どもたちとの接し方が想像以上に難しいことを実感。現場の先生から具体的なアドバイスもいただき、自分の対応について深く考える機会になりました。剣道は、人間形成をめざす武道。今後も、礼節を重んじる精神を磨き、自己修養に努めていきたいです。



総合福祉学部 社会福祉学科 4年  
橋本 良心さん  
※学年は取材時のもの

令和5年秋季千葉県学生剣道大会で本学初となる男子個人戦優勝を飾る。3歳から稽古を重ね、さまざまな困難に直面しつつ、剣道の理念である人間形成の道をめざして修練している。

淑徳人  
No.240  
Shukutoku OB&OG  
Interview

きっかけがあれば人は  
変われる

## 大学での 学びと出会いが 人生を変えた



千葉県立特別支援学校流山高等学園 校長

### 松見 和樹さん

Kazuki Matsumi

社会福祉学部(当時) 社会福祉学科 1992年卒  
淑徳大学大学院 社会福祉学研究科(当時)  
社会福祉学専攻 修士課程 1994年修了

先生や仲間と論じ合い、  
社会福祉学への探究心が深まる

高校生までは勉強が得意でなく、自分に自信を持てずにいました。そんな中で将来を考えたとき、先生になりたいという夢と、社会学や経済学などの学問分野にとられず、広く世の中について学びたいという二つの思いがあり、どちらも実現できる淑徳大学を選択。そこから人生が大きく動き出したのです。専攻した社会福祉学は、社会のことを総じて学ぶ学問。社会情勢や世の中の見方、社会の仕組みをどう変えるともっと良くなるか、といったことを先生や仲間と一緒に論じ合う日々でした。指導していただいた上田千秋先生はじめ、優れた先生方の社会科学的なものの見方や考え方は学びの原点になっています。自分でやりたいと思ったことに取り組んでいたからこそ、あれほど勉強嫌いだっただけなのに、学ぶことが楽しくなり、成績にもつながっていきました。

充実した学生生活は、  
人生に良い影響をもたらす

淑徳大学で身につけた、物事をとことん探究する姿勢は、特別支援学校の教員になってから現在まで、特別支援教育に向き合う私の指針となっています。常にアンテナを高くして新しい情報を取り入れ、気になることは多角的に分析、発信することで、子どもたちにとってよりよい授業や教育につながるよう心がけています。

また、長年にわたって研究活動を積み重ねる中で、国立特別支援教育総合研究所の主任研究員や、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課の主幹兼教育課程指導室長など、責任ある仕事を任せられる経験も。現在、校長を務める学校では、文部科学省指定の研究開発学校として、生徒の自立性やエージェンシーを育む教育について最先端の研究を進めています。

6年にわたる学生生活は、勉強だけでなくサークル活動にも力を入れ、仲間や先生と良好なコミュニケーションを築いたかげがえのない時間で、そのすべてが人生に役立っています。在学生のみならずには、今の自分と時間と仲間を大切に、充実した学生生活を送ってほしいです。



## 令和六年度 淑徳大学 入学式



### 令和6年度淑徳大学・淑徳大学大学院の入学式を挙行いたしました

令和6年4月3日(水)、有明にある東京ガーデンシアターにて、淑徳大学並びに淑徳大学大学院の入学式を挙行いたしました。

本年度は7学部13学科、2研究科、留学生別科の揃った盛大な式となりました。1451名の新入生を迎え、新たなスタートを保障人の皆様と一緒に歡びました。

第一部の式典では、千葉市の

賓の方々に臨席を賜り、新入生に向けてたくさんのお祝いや、これからの大学生活に向けての励ましのお言葉を頂戴しました。第二部のイベントステージでは、大人気ダンスグループの「アバンギャルディ (avantgarde)」の皆様にお越しいただき、素晴らしいダンスを通して新入生をお祝いいただきました。

### 観光業淑徳会が発足しました

旅を仕事に日々研鑽を積む同窓の仲間が集い、語りあえる場として、淑徳大学OB・OGの同窓会任意団体「観光業淑徳会」が発足することになりました。去る2024年6月22日(土)、東京ベイ潮見プリンスホテルの「Restaurant & Bar TIDE TABLE Shiomi」を会場に、キックオフ・ミーティングを開催しました。航空会社や旅行会社、ホテルなど観光業界で活躍する卒業生および観光経営学科の恩師ら15名が集まって親交を深めました。

参加した卒業生を発起人に、初代会長にはアーストラベル水戸の代表取締役・尾崎精彦氏が就任して、会の船出を祝いました。尾崎氏は、1999年に社会学部(現在の総合福祉学部)を卒業後、東急観光現在の東武トップツアーズに入社されたのちに同社に転職、代表に就任した我々がOBです。

発起人代表は東武トップツアーズの沼里沙季さんと鈴木悠太さん

会発足の趣意説明をするアーストラベル水戸の尾崎精彦代表



「Restaurant & Bar TIDE TABLE Shiomi」で働く堀口直人さんも淑徳大学のOB



観光業淑徳会キックオフ・ミーティングを東京ベイ潮見プリンスホテルで実施



## 学祖・長谷川良信先生の足跡

一写真から広がる長谷川良信先生の世界一



▲ 良信先生

### 写真について

1955年(昭和30)に「日本社会事業学校連盟」の結成式で撮影された写真です。この会合は、明治学院大学で行われました。

### 1 集合写真の人々

「日本社会事業学校連盟」の結成式の写真には、前列向かって一番右側から明治学院大学の若林龍夫、大正大学で教鞭をとっていた長谷川良信、日本社会福祉学会初代会長をつとめた四宮恭二、日本社会事業大学の仲村優一、後列は当時、中部社会事業短期大学の教員であり、医療社会事業の発展に尽くした浅賀ふさ(後列向かって一番右)、その隣に日本社会事業大学の木田徹郎、若手の明治学院大学の阿部志郎(一番左)などが写っています。

集合写真は、被写体の位置で人間関係がみえますので、良信先生は中心的な役割を担っていたことがわかります。

### 2 「日本社会事業学校連盟」の結成

連盟結成のきっかけを作ったのは、若林龍夫(1904～1978、明治学院大学名誉教授)でした。1954年の渡米中に国際社会事業教育会議に参加して、1958年に日本で開催される同会議の受入態勢が未整備であることに気づかれて、帰国後にその受け皿を求めたことによります。

連盟が結成され、国際社会事業学校会議への加入を決定しています。日本の社会福祉教育の向上を目的とし活動を続けますが、2003年12月の社団法人化にともない、「日本社会福祉教育学校連盟」と名称を変えました。

### 3 ソーシャルワーク教育学校に課せられた社会的使命

「日本社会福祉教育学校連盟」は2017年(平成29)4月、「日本社会福祉士養成校協会」「日本精神保健福祉士養成校協会」と合併し、全国のソーシャルワーク教育学校で組織された「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟」が誕生します。ソーシャルワーク教育の内容充実及び振興を図るとともに、ソーシャルワーク及び社会福祉に関する研究開発と知識の普及にも努め、福祉の増進に寄与することを目的としています。

### 4 60代の良信先生

60代になってからの良信先生は1953年(63歳)には、単身でブラジルに渡り、各地を回り、日伯寺を創建します。1957年には2度目の渡伯を果たします。知的障害児施設子供の園(現・こどものその)の開設を行った時期でした。

1962年には大正大学を退職し名誉教授となり、この年、国際社会事業教育会議に日本代表として出席のため、3度目の渡伯を果たします。良信先生はこの頃に四年制大学の設置構想を持ち始めていましたから、こうした国内外の社会福祉教育界の動きと連動していたといえます。

#### 参考文献

長谷川匡俊『長谷川良信の生涯』2020年刊行  
長谷川良信『第二次ブラジル遊記』1987年刊行  
協力 阿部志郎・渋谷哲・日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局

(作成 淑徳大学アーカイブズ)  
淑徳大学アーカイブズ(千葉キャンパス1号館3F)▶

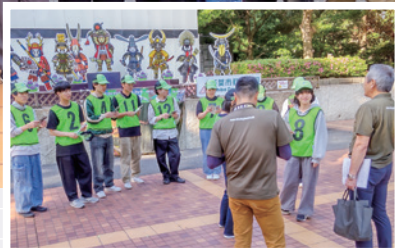


## 課外活動の様子をご紹介します

## 千葉市動物公園

## 「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」でボランティア!

5月25日(土)、千葉市動物公園で例年開催されている「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」が今年も行われ、教育福祉学科松浦ゼミ生(3年生)10名がボランティアとして参加しました。



この行事は、ゆっくり動物園を見学する時間が持ちづらい障がいがあるお子さんやそのご家族のために、日時を決めて園を貸し切りとし、多くの関係者がボランティアとしてサポートしながら動物とのふれあいを楽しんでもらう目的で数年前から実施されています。

もともとは欧米の動物園でそのような目的から夜の動物園を開放し実施していたため、千葉市動物公園でも当初は「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」という名称で続いてきたのですが、千葉では日中の開催が主だったため、昨年からは「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」に名称変更しました。

淑徳大学はこの行事が始まった当時から共催し、ここ数年は松浦ゼミ生を中心に特別支援学校教員養成課程の学生が中心となり、これまでも数多くの学生がボランティアに参加してきました。



なお本年は園内施設の一部で改修工事が行われたり、例年夏の実施で影響があった猛暑を避けたりするため、5月のこの時期、一般来場者の閉園時間後の数時間だけ実施されることとなりました。

今年のボランティア学生の担当は中央広場のステージに設置された「動物武者パネル」前で来場者が記念撮影をする際の補助であり、多くの撮影希望者からスマートフォンやカメラを預かり、家族の笑顔の写真を撮影し続けました。撮影を終えたみなさんからの「ありがとう!」「楽しかった!」の一言に学生の表情も終始ほころんでいました。

あるご家族からは「障がいの重いわが子連れて安心して出かけられるところがなかなかなく、屋外で家族そろった記念写真を撮る機会がなかった。本当にうれしい!」と声をかけていただき、なかには涙ぐ



む方もいたようです。学生たちにとってはそれらの経験がとても深い学びになったようです。

活動を終え帰る準備をしていた学生に、動物園の園長さんから「わずか数時間で1000名以上の利用者があり、学生さんに気持ちよく写真を撮ってもらえてうれしかったとの声が多かった」とお褒めの言葉を戴きました。

来年もまた来場者の笑顔が輝くようなボランティア活動を続けていきたいと思っています。

## 地域創生学部

## 国指定重要無形民俗文化財

## 「間々田のじゃがまた」に参加しました

栃木県小山市間々田地区で毎年5月5日に行われる「間々田のじゃがまた」は、7つの町内ごとに長さ15mの「じゃ(蛇)」と呼ぶ藁蛇を担いで地域を練り歩き、五穀豊穡や疫病退散を祈願する祭りで、国の重要無形民俗文化財にも指定されているこの祭りに、正課外実習として地域創生学部の学生6名が参加しました。5月3日の藁蛇つくりと5月5日の祭



り当日、各町内の方々と一緒に祭りの当事者として参加・体験をさせていただきました。多くの見物客が集まって大変な盛り上がりを見せる祭りですが、その一方で、地域ではその担い手や藁蛇の材料の確保・技術の継承などの面で課題を抱えています。当事者として参加することで、さまざまな視点から地域における祭りのあり方を学ぶことができました。

## 国際交流センター 春休み英語・異文化研修①

## ウーロンゴンカレッジ

## 英語・異文化研修(2/24(土)〜3/25(月))

全学部より集まった11名の学生が、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州にあるウーロンゴンカレッジで英語・異文化研修を行いました。参加学生は、それぞれのホームステイ先からバスでキャンパスへ通学し、カレッジでは他大から参加している学生と一緒に英語を学ぶことができます。サーフィン体験、シドニー日帰り観光、ホストファミリーとの貴重な時間を過ごすなど、オーストラリアの大自然を満喫しながらとても充実した1か月を過ごしました。



## 国際交流センター 夏休み英語・異文化研修②

## トンブソンリバーズ大学

## 英語・異文化研修(8/11(日)〜9/1(日))

今年の夏休み、カナダのトンブソンリバーズ大学での英語・異文化研修へ1年生〜4年生まで12名の学生が参加しました。台湾や韓国、メキシコ出身の学生達とも一緒に学ぶことで、お互いの大学生活や趣味の話で盛り上がりながら、海外の友人も作ることができました。トンブソンリバーズ大学での研修は、カナダの大自然の中で楽しむカヤックや乗馬など、アクティビティが充実していることでも人気があります。現地での3週間はあっという間に過ぎ、英語力に限らずコミュニケーション能力も高めて帰国しました。



春休みのプログラムは毎年10月上旬、夏休みのプログラムは毎年3月下旬から4月にかけて募集説明会(オンライン)を全キャンパスの学生に対して実施しています。短期海外研修に興味のある方は、まずは国際交流センターが実施する説明会へ参加してください。

## 千葉第二キャンパス

## 看護学科「卒業生の集い」を行いました

7月6日(土)に千葉第二キャンパスにて、毎年恒例の看護学科「卒業生の集い」を実施しました。2024年3月に卒業し、看護師や保健師として活躍している48名が学び舎に戻ってきました！山口学長や同窓会代表幹事の長澤様からご挨拶をいただいた後、食堂「リラ・カフェ」にて可愛いしゅくとくまのスイーツなどを楽しみながら、学友たちと看護職1年目の大変さを共有したり、先生方の1年目のエピソードを聞いたりするなど、楽しく近況報告をしました。

参加者からは、「淑徳大学で看護師になるために頑張っていた気持ちを思い出しました。ありがとうございました！」などの意見が寄せられました。仕事で疲れたら、いつでもキャンパスの先生方や職員のみなさんに会いに来て下さいね。卒業生のみなさんの今後の活躍を応援しています！



看護職1年目ならではの  
大変さ、悩み、そしてやりがい。  
さまざまなことを共有しました



みんなで記念撮影。  
いい笑顔ですね！

## 看護学科・栄養学科合同で新入生セミナーを開催しました

2024年4月5日(金)に看護学科・栄養学科合同で新入生セミナーを開催しました。昨年度までは学科別に行われてきた本セミナー、今年度は「お互いを知ろう!」をテーマに両学科の交流を深めることを目的に実施しました。各グループ内で、やや緊張する中でお互いの自己紹介を行い、グループワークでは「最強の給食メニュー」を考えてもらいました。そして参加学生投票により、3つのグループが表彰。給食エピソードで盛り上がるなど、学科を越えて交流が深めることが出来たようです。

看護栄養学部では、看護学科学生と栄養学科学生の交流がなかなか恵まれず、お互いのことを全く知らずに卒業していくことが多いです。このセミナーをきっかけに、より広い交友関係を築きながら4年間の大学生活を楽しんでもらいたいですね。



初対面ながらも、給食を提供する  
対象・内容について楽しく話し合っています。

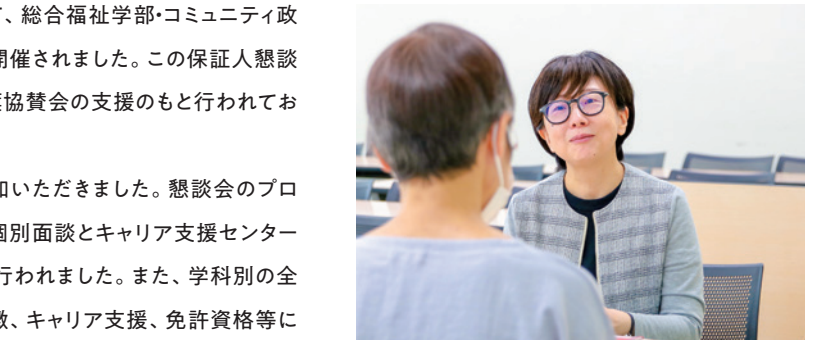
## 千葉キャンパス

## 令和6年度 千葉キャンパス保証人懇談会・千葉協賛会総会開催

去る6月8日(土)、千葉キャンパスにおいて、総合福祉学部・コミュニティ政策学部の保証人懇談会・千葉協賛会総会が開催されました。この保証人懇談会は、保証人による学生支援団体である千葉協賛会の支援のもと行われております。

今年度は、101名の保証人の皆様にご参加いただきました。懇談会のプログラムとして、各学生のアドバイザーによる個別面談とキャリア支援センターのカウンセラーによる個別のキャリア相談が行われました。また、学科別の全体会を通じて、各学科の授業や教育上の特徴、キャリア支援、免許資格等についてご説明し、大学での学びや学生生活について保証人の皆様にお伝えする貴重な機会となりました。

最後に、保証人懇談会のアンケートの一部をご紹介します。ご協力に感謝申し上げます。



アドバイザーによる個人面談



全体会で説明する  
コミュニティ政策学部学部長  
芹澤 高寿 教授

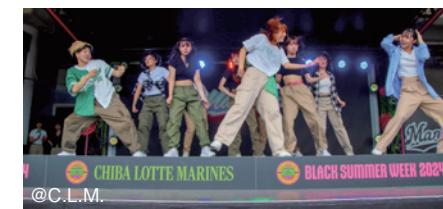
## 千葉キャンパス保証人懇談会のご感想(アンケート集計結果の自由記述より)

- ・4年間の流れ、学科の仕組みが理解できて良かった。
- ・卒業後の進路や就職支援など詳しく説明していただいて分かりやすかった。
- ・実習前教育等を担当して下さった先生が面談してくださり、心配していた履修状況や出欠席等について相談できた。
- ・大学生活の様子が伺え、本人の考えや、就職先を考えていくうえでの今後の対応や活動、先生から見ての姿を教えてください、1人ひとりに先生がよくご配慮くださっているのが伝わって来ました。

## 「淑徳大学スペシャルナイター」を開催しました

2024年8月6日(火)千葉ロッテマリーンズ対福岡ソフトバンクホークス戦で、冠協賛試合「淑徳大学スペシャルナイター」が開催されました。淑徳大学スペシャルナイターは、地域活性化やスポーツビジネスの学びの場として、学生たちのアイデアで毎年運営されてきました。

当日は、コミュニティ政策学部の学生たちが企画したこども縁日や、ダンスサークルによるパフォーマンスなどを実施し、淑徳大学スペシャルナイターを盛り上げました。さらに、試合前セレモニーではコミュニティ政策学部の学生が、千葉ロッテマリーンズ吉井監督へ花束贈呈とファーストピッチを行いました。



ダンスパフォーマンス



@C.L.M.

試合前セレモニーを終えて



こども縁日での一コマ

## 埼玉キャンパス

幼稚園・保育園等での実習に向けた指導  
〈教育学部〉

教育学部では、幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園などでの実習を、幼稚園教諭免許状や保育士資格を取得する上で必修の科目として、行っています。

実習に向けた指導のうち、3年生(夏に初めての正式な実習に行きます。)が参加して行ったことの、一部を紹介します。「保育実習指導I」の科目で、実習日誌の書き方や保育実技などを扱うほか、保育現場について学ぶ回で、保育園の園長先生や卒業生の保育士から話を聞きました。科目外では、教員・保育士養成支援センターで随時相談したり企画講座を行ったりするとともに、教育連携園の先生方を招いて各園や実習の紹介をいただく「実習ガイダンス」を行いました。

今年度から、伝統ある淑徳大学短期大学部こども学科で活躍してきた、田村美由紀先生、前正七生先生、諸井サチヨ先生の三先生が、実習を含めた科目担当や同センターの運営に加わっています。教育学部での保育者の教育と養成は、これからますます進歩していきます。



「実習ガイダンス」でいろいろな園と出会って  
そこでの実習のイメージを広げます



手に持っているのは  
おむつです

地域理解実習(三芳町について)  
〈地域創生学部〉

「地域理解実習II」では、1年生が4つのコースに分かれ、それぞれの興味に合わせた学習を行っています。森屋先生と佐藤先生が担当する三芳町コースでは、三芳町の抱える諸問題について理解を深めるため、7月12日(金)に三芳町役場を訪問しました。

この実習では、とくに第6次総合計画や計画に基づいた取り組みについて、政策推進室の担当者の方から講義をいただきました。講義をいただいた後、「将来、自分が住みたいまち」について、グループワークを行い、政策推進室の担当者の方からコメントをいただきました。事前学習で第6次総合計画について調べましたが、講義とグループワークを通して、さらに三芳町の抱える問題や課題について学ぶことができました。



グループワークの風景



教育学部  
こども教育学科  
蘇武 伸吾 教授

ご冥福をお祈り申し上げます。

多くの学生や教職員が敬愛してやまない、蘇武伸吾先生が本年7月11日に逝去(享年55歳)されました。蘇武先生は初等社会科教育、教育の方法及び技術の分野を専門に、2020年に淑徳大学教育学部教授としてご着任なさいました。埼玉県内小学校の校長としてご活躍なさった経験から、学生たちに常に寄り添いながら、多くの学びを授けてくださいました。「これからの教育界は皆さんが背負っていくのです。教師保育士をめざすのであれば、今、一生懸命に学んでください。そのことが『教師保育士の第一歩』だと思います。共に頑張ってください。」蘇武先生の想いは学生たちや教職員たちに受け継がれます。蘇武先生、淑徳大学とりわけ教育学部の発展に「尽力ください、誠にありがとうございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。」

蘇武伸吾先生を  
偲んで

## 東京キャンパス

淑徳大学歴史学会を設立しました!!  
〈人文学部 歴史学科〉

人文学部歴史学科は今年、開設十周年を迎えます。すでに卒業生は300名を越え社会で活躍しています。彼ら卒業生と在学生在が集まり、「歴史」をキーワードに先輩と後輩が交流できる場をつくろうという目的で「淑徳大学歴史学会」を設立しました。2023年11月に開催した第1回大会では、3年生と卒業生の研究発表、そして設立記念講演として長谷川匡俊・本学園理事長より「私の歴史研究の歩み」と題したお話をいただきました。参加者は200名。懇親交流会もおこないました。今年は11月16日に大会を開催する予定です。今年も、淑徳大学で楽しく歴史を学んだ方々が気楽に歴史談義ができる場となればと思っています。

落語に学ぶ人間科学～落語家 桂宮治さんと考える“笑い”と“豊かな暮らし”～  
〈人文学部 人間科学科〉

6月23日(日)オープンキャンパスに落語家の桂宮治さんをお迎えし、特別イベント「落語に学ぶ人間科学」を開催いたしました。会場には受験生、保護者、高校教員、本学在学生・教職員など多くのみなさんにお集まりいただきました。

一部目では、桂宮治さんに落語を一席ご披露いただき、落語を体験する貴重な機会となりました。二部目では、フリーアナウンサーの西川あやのさんによる司会進行のもと、桂宮治さん、鈴木敏彦副学長、長谷川美貴子人間科学科長の4名で対談を行いました。福祉や健康の視点を交えながら、人が笑うことによって生まれるさまざまな効果や豊かな暮らしについて楽しく学ぶことができました。



左から、西川さん、桂宮治さん、長谷川学科長、鈴木副学長



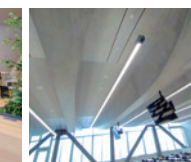
来場いただいたみなさんと

## 新校舎・9号館が完成しました

東京キャンパス4・5・6号館の北に、新校舎・9号館が完成しました(2024年3月竣工)。講義室の天井を高く確保できるよう、大乗仏教の考え方である大きな舟を意識した舟形天井が採用されています。大教室に加え、吹き抜け、フリースペースや中庭を備えた爽やかなつくりは学修環境に最適です。他校舎と同じように煉瓦色をしたこの9号館は、東京23区内ながら閑静な街である板橋区前野町に溶け込んでいます。



フリースペース



舟型天井



9号館外観



## 学園祭・ホームカミングデー

一部オンラインでも開催します。詳細は特設サイトをご確認ください。

10/26(土)・10/27(日)

学園祭  
TOP



学園祭  
オンライン  
TOP



ホームカミングデー

●千葉キャンパス

龍澤祭

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/chiba/>



●埼玉キャンパス

淑徳祭

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/saitama/>



●千葉第二キャンパス 10/26(土)のみ開催

翔蓮祭

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/chiba2/>



●東京キャンパス

淑徳祭

特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/tokyo/>



●千葉キャンパス 10/26(土)

●千葉第二キャンパス

●埼玉キャンパス 10/27(日)

●東京キャンパス 10/26(土)

詳細は大学ホームページを  
ご確認ください

<https://www.shukutoku.ac.jp/alumni/>



## 淑徳大学フェア2025 in 宇都宮

本学をより広く知っていただく場として、「淑徳大学フェア」を3年に1回開催しております。

今回は2025年7月26日(土)宇都宮市にあるライトキューブ宇都宮にて開催いたします。

一般の方、在学生、保証人、卒業生、どなたでもご参加いただけます。詳細は決まり次第HPにて掲載いたします。



SHUKUTO KUMA

### □千葉キャンパス

総合福祉学部  
コミュニティ政策学部  
大学院 総合福祉研究科  
〒260-8701  
千葉県千葉市中央区  
大蔵寺町200  
Tel 043-265-7331

### □千葉第二キャンパス

看護栄養学部  
大学院 看護学研究科  
〒260-8703  
千葉県千葉市中央区  
仁戸名町673  
Tel 043-305-1881

### □埼玉キャンパス

教育学部  
地域創生学部  
〒354-8510  
埼玉県入間郡  
三芳町藤久保1150-1  
Tel 049-274-1511

### □東京キャンパス

経営学部  
人文学部  
〒174-8631  
東京都板橋区  
前野町6-36-4  
Tel 03-3966-7631

発行日 | 2024年10月1日

編集 | 淑徳大学  
大学広報誌  
編集委員会

発行 | 淑徳大学  
大学事務局

### 大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保証人や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/WuVXqRCuA2AAyG9c6>



公式HP



公式Instagram



公式YouTube



公式X



アドミッションセンター  
公式X



公式Facebook



淑徳大学  
共に進む これまでも これからも

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、積極的に取り組んでいます。

その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイルーজに配慮したライズインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。